

WRI News Letter ^{No. 17}

1976年8月12日発行・大阪市阿倍野区旭町2-12-2 WRI大阪(気付) WRI-JAPAN

事務所から



★へ直接行動2号Vをおとすけ
します。これを届へ持込んだその足
で、大阪南港から船出して、沖繩・
久米島へ旅立ちます。25日ごろまで

事務所はカラッポになり、通信連絡
がその間おくれますが御了承下さい。

★さて、あるときのKとFの向
答：「君は一体、なににいくの」
「沖繩から、天皇制を見据えるため
に、ハハジカシー……」

「見据える云うても、どないして見
据えるんや。望遠鏡持たんで見える
んか。」

「沖繩が、すなわち望遠鏡になるん
やないの」

「なるほど、そやけど方角をつけた
り、ピントあわすのは自分やで。そ
れがでけんかったら、何もみえん
のどちらがうか……」

というわけで、船中では時間は学習
会をやることになっていきます。

★それから、こんどは、なカマ
に三冊の但し余分にあっても始

末におこまりどううと考えた方はへらしました。こ
のうちの二冊は、適当に売るなり、進呈するなりして
あなた自身を、それゆえWRIをひろげて下さい。
それと、おしつけがましいのですが、千円あるい
は適当な負担額を、共同行動費として送って下さるこ
とを期待します。

★李得賢さんの無罪釈放を訴えて八月一日から、
東京のスキヤ橋でハリストが行なわれましたが、それ
に参加したN君からのたより。

「きのう(8月3日)のハリスト泊り込み人員は、な
んと16人(ハリスト者2名を除く)。昨晩は5時間く
らい朝鮮のこと、天皇制のこと、現在の状況等話をし
ました。今までのハリストと又違ったかんじです。ハ
リストにつきまとう悲しウ感がまったくなく、今朝は
16人全員でラジオ体操といたった具合です。」

★ノエルとマリー夫妻の死刑ともかく延期

7月9日死刑という決定が29日になったとかの情報
が入り、それからどうなったか心配していたところ、
確報ではありませんが、再審請求に対して、それをラ
けつけて再審するかどうかを検討して結論を出すまで
死刑は延期されるとのことです。

なお日本国内での抗議ハガキの大使館への集中は、
おもいの外大きくひろがり、千とかいものかいったん
いやないかと思えます。それと救援連絡センターが、
救援紙の一面にそれを訴え、丁度ひらかれていたアジ
ア青年会誌では、参加者全員が署名して大使館に手渡した。

WRIの仲間への合言葉Vへ切手Vへのリッペ!!

WRI 読者会の報告



5月6日東京 渋谷住民広場 3時間 1人

6月27日大阪 府立労働会館 3時間 9人

7月25日金沢 Iさんの家で 6時間 10人

そこで話したことは、あまりに一ぱいで、とてもうまくまとめられないので、走り書きしたメモを、そのままにうつしておきます。あなた自身をナシして読んで下さい。

— 軍務にたがなくても、今の世の中じゃ、生きろってことが、もう戦争体制に協力してしまってる、というかんじがらめのかんじ。だから、WRIのメンバーであるという事は、ほんとはそんなに簡単なことじゃないんじゃないのか……

— そうなんだ。今日は、目に見えないかたちで日々戦争をしかけている。反戦というとき、目に見える戦争だけを討しようにするのでは、ダメだ。

— 反戦の根底は革命なんだ

— それで直接行動なんだけど、たとえば、こんど小松基地に対して何かやろうと僕たちのクループは考えているんだけど、直接的、具体的な行動のスタイルをはっきりつくってきたい。しかし、基地というふうな物質的な基礎を持って、たもに対して、直接行動は何か出来るだろうか。

— 私は、まだ非暴力ということがよくわからないな

— 権力と闘う姿勢を持たない非暴力はWRIでいうところの非暴力ではない。

— 僕たちが非暴力というとき、同時に暴力によって抑圧されている事実を徹底的に明らかにしなければならぬ。それなしの非暴力というのは、あやまりと困窮をまねく。直接行動は、支配の暴力性をはっきりさせると思う。

— もっと個人の内面の、なぜ反戦か、ということをはっきりさせなければ……

— 公平運はひとつの新しい運動の質をこりだしたと鬼う。しかし、個人の内面が問われない、一つのスローガンのもとにあつまる組織は便利ではあるが、根本的に自分をすえていく土台としては、決定的に不足している。もう、この指とまれ式ではダメだ。

— 自分にとって、「生きていく力」となるようなもの、WRIは、そういう意味で、生きろ自体にかかわってくる。

— 日常的な、自分自身とのかかわりの中で、反戦の前歴をひとつひとつ実体化していく。この人間は、戦争の要員としてはダメなんだと権力が思うようは、前歴をつくっていき。 (反戦れとんぼですが以下カウチUP)

★ 8月1日2日京都での原水禁国際会議に、ベルギーからのWRI代理として、事務所から向井が出席。

★ フリーマガイままオデッセイの旅を本にすべく編集集中。日本でとつたお真などをまめている。 — Koi

この郵送料カンパのために、切手を切取り返送して下さいと助かります。その輸送の手古切符コロンブスの協力を。